

# クイーン倶楽部だより 10月号

2011年 第107号

ERN 有限会社エコ・ライス新潟  
 新潟県長岡市脇川新田町字前島970-100  
 TEL 0258(66)0070 FAX 0258(66)0447  
 URL <http://www.eco-rice.jp/>  
 E-mail [eco-net@nekonet.ne.jp](mailto:eco-net@nekonet.ne.jp)



## 第5期 白藤プロジェクト 秋の白藤合宿!

in 南魚沼

9月に刈り取り、はざがけした「白藤」の脱穀とワラを使ったワラジ作りに白藤プロジェクトがチャレンジ。まずは脱穀から。ワラジ作りの名人・善兵衛さんから借りた骨董品物の「足踏み脱穀機」を使い、脱穀。脱穀した後、「とうみ」を使い、籾を選別します。白藤のワラは丈が長いのでワラジを編むにはびったり。黙々とワラジを編む職人肌の善兵衛さんの技を見よう見真似で覚え、編み上げました。

善兵衛さんをはじめ、場所とご飯を提供していただいた山崎夫妻、その他沢山の皆さんの優しさに触れた2日間でした。



### 放射性物質検査について

皆様に安心して23年産米を召しあがっていただくために、①新潟県が行う「玄米の放射性物質検査計画」により公開されたデータ、②Radix（自然との共存共栄を目指す生産者の団体）の行う検査、③当社が独自に検査機関に依頼する検査の3重の安全確認をしたのち、皆様へお届けいたします。

詳しくはホームページや紙面、お米に同封している別紙をご覧ください。

**新潟県内すべての地域において放射性物質は不検出で安全が確認されております**

### ドクター中村の 健康徒然記 その9

#### 医療変革の大きな波



中村 信也(なかむらのぶや)  
 医学博士、東京家政大学家政学部栄養学科教授として教鞭をとり、「食と医療の医学薬膳研究の第一人者」として活躍中。

日本では古来医師は漢方医でした。漢方とは漢(中国)の国から来た医学という意味で、中国医学(中医)を日本風にアレンジした日本独自の医療です。明治になって漢方医は廃され、ドイツ医学を学んだ西洋医だけが医師となりました。戦後、米国の医療に移りました。そして、日本人の器用さと熱心さで日本医療を確立させています。その最たるものは内視鏡の外科手術です。がんも内視鏡で切除されています。また、漢方医学の復興もあります。医学部に漢方医学講座が設置され、更年期障害・生理痛などに漢方薬が使用されています。漢方と西洋の診療の棲み分けがなされています。

私はいま日本には大きな治療の変革の波が起きているのを肌にかけています。巷ではありとあらゆる治療が百花繚乱です。健康グッズも花盛りです。医師は全ての病気を薬で治すというものへの反感が生んだものと思っています。これは「医師の医療独占の終焉」につながります。医療は医師の独占であると医師法第17条に明記してありますが、もう既に形骸化しているのです。

医療周辺行為の医行為(施術)は鍼灸、マッサージ、柔道整復は法律で認められていますし、保険適用もあります。しかし、多くは法律外医行為です。現在、これらを取り締まるにしても余りにも拡大し過ぎていて遅きに失していますし、患者さんも付いていますので無碍に禁止できません。米国では医行為が堂々となされ、数多くの治療法が電話帳に掲載されています。

対応は新体系で法制化するしかありません。それは治療者も望んでいることです。法での責任を明確化、客観的に効果評価が重要です。医師は治療の頂点にありますので評価と患者振り分けの役割を担うべきと考えます。